

りす俱樂部

2017 年
11月号
第256号



再会

朝霧の消えた峠道。他に登山者の姿は無く、枯れ落ち葉が靴の下で囁いている。ときめきが道案内のわずかな先を越えれば、緋色鮮やかなヤマウルシに再会できるはずだ。

弁護士 福井大海

我が国における

安楽死問題の行方

香川大学 法学部

副学部長 教授

平野美紀

高度医療が発達した現代日本では、安易な生命終結が行われないという大前提の下で、生命の終わりに関する自己決定とその尊重は重要であると思います。

私自身、家族や友人、医療者など周囲に配慮しつつ、誰から強制されることなく決定し、それを遠慮せずに表現したいと考えており、そして一方で、その意思決定の実現を可能にしてくれる人が納得でき、遺された人も法に問われないことは当然のことながら、自信と誇りを持つことが理想だと考えています。

しかし、日本ではまだまだ死について語ることを躊躇したり、本心からの自己決定ではなく「周囲から期待される決定」を述べてしまったたりするため、自己決定が容易ではなく、たとえ自己決定でき

たとしてもその実現は困難であることが多いようです。

死の自己決定についてはさまざまな角度から議論することができますが、今回機会をいただきまして、死の自己決定の一形態である安楽死について、日本での考え方、そして比較対象としてオランダにおける安楽死制度について簡単に述べたいと思います。

安楽死という言葉が、文字通り安楽な状態で死ぬことを意味しているとするれば、それは美しく、人間として理想的な最期でしょう。

しかし実際の意味は「痛みを苦しむ人を安楽に死なせること」、つまり安楽死とは、背景事情はどうであれ人の生命を終結する行為をいうものであって、端的に言えば殺人にあたり、法律的に問題と

なります。そのうえで激しい肉体的苦痛がある場合に、死をもつてしかその痛みを終わらせることができない、という究極的な状況にあつては、安楽死行為は法的にも認められるのではないかとして議論されているのです。

安 楽死といえ多くの方は森鷗外の小説「高瀬舟」を思い出されるかもしれませんが、自殺を図ったものの死にきれなかった弟を自分の手にかけて喜助の行為が、果たして処罰されるべきなのか、という問題が提起されています。

もともと、安楽死について日本では、「身体疾患によって末期状態の患者について、苦痛除去の手段がもはや残されておらず、生命を終結するしか苦痛の除去がない場合に、本人の同意に基づいて生命を終結すること」と定義されてきました。



平野美紀先生
りすシステムスタッフ研修
で講演いただきました
(2017年10月14日)

本人の同意があつても生命を終結させることは、つまり殺すことであつて同意殺人罪とされ、また、人の生命終結に人為的に介入することは慎重であるべきとして、刑法には自殺関与罪も規定されています。ただこれらの行為は、激しい痛みを伴った末期状態等の例外的な状況においては、一定の要件を整えば「安楽死」として認められると考えられてきました。

しかし、実際の事件では、裁判所は許容される要件を挙げたうえで有罪としてきました。「要件が満たされれば許容される」が、その要件が満たされなかったので安楽死として認めることはできない、との判断です。

たとえば1952年の名古屋高裁では、不治の病にある本人は苦痛が甚だしく何人も見るに耐えない場合であつて、死をもつてしか苦痛を終わらせることができず、本人の同意があつて、倫理的に妥当な方法で行うことが要件であるとされました。苦痛の激しい父親に同情し、近所でも評判の孝行息子が牛乳に農薬を入れて死なせた本件について、方法が倫理的に妥当であるという要件等が満たされていないとして、有罪とされたのです。

その後のいずれの事件でも、家族の行為について名古屋高裁が述べた要件は満たされていないとして、有罪となりました。

初 めて医師の行為が問われたのが、1995年のいわゆる東海大学病院事件判決です。

当該事件では、本人は意識不明であり既に苦痛がなかったにもかかわらず、家族の求めに応じて医師が治療を中止した後、再三の家族からの「楽にしてあげてほしい」という言葉によって、最後に致死薬を注射した医師が罪に問われました。

このように日本で安楽死事件と言われている事例は、「身体的な痛み」を終わらせるためにそれ以外には方法がないから生命を終結させた行為、が中心です。

しかし、時代の流れと共に鎮痛医療は発達し、また、患者の権利の尊重が謳われるようになり、安楽死が議論される背景も変わってきました。安楽死事例といわれる事例の中で最も新しい判決でも患者の自己決定権の尊重に言及されています。

一方で現在のオランダにおいては約40年にわたる議論の末、法改正が行われ、医師の行う安楽死行為に関しては日本と同様に

処罰の対象でありながら、一定の要件の下では許容されることが刑法に明記されています。

この場合安楽死とは、「治療不可能な状態で苦痛に苦しむ患者が要請した場合に医師が生命終結すること」を意味します。鎮痛医療の副作用等で生命が短縮されるのではなく、「生命を終結することを目的とした注射等の行為」です。また、末期状態に限定されず、必ずしも身体的疾患とは限りません。

特

筆すべきことは、患者が自由意思に基づいて決定し、医師が慎重に判断して行動し報告書類を提出することで、全てのプロセスに透明性が確保されていることです。患者は、医師から病状等について十分な説明を受け、継続的に考慮し、他者からは強制されることなく自分自身で決定します。

患者の希望とはいえ生命を終結することは医師にとってもつらいことであり、安楽死を行う医師は、さまざまな専門機関に相談することも可能です。そして事後の報告書類によって、患者が自由意思に基づいて決定し、医師が注意深く実施した、という

要件が満たされていなければ（原則的には違法な行為ではありませんので）捜査が開始され、場合によっては裁判になるわけです。現在の制度が確立するまでは裁判も多くありましたが、現行の法制度が実施されてからは実際に裁判になることはほとんどありません。

このような制度が可能な理由はいくつもあります。重要な点を挙げるとすれば、ホームドクター制度で、医師が患者本人や家族まで知る緊密な信頼関係を築いていることのほか、自己決定が可能な風土にあると思います。

オランダはヨーロッパの小国でありながら貿易で栄え、オランダ人には、多様な価値観を寛容に共存させる知恵が強く根付いています。

患者側は自分たちの権利を守り不要な訴訟から医師を守るため、医師は専門家として患者の希望を適え最期



平野美紀先生

清水勇男先生

(りすシステムスタッフ研修 2017年10月14日)

の段階まで患者に寄り添うため、法律家は医学的見解を尊重しながら安易な生命介入を防止するため、それぞれが異なる立場でその方策を模索し、議論を続けてきました。問題があれば隠すことなく表に出して徹底的に議論する、というのもオランダ人が得意とするところです。

オ

ランダにおける、自己決定を尊重する仕組みを作るまでの議論の積み重ねからは、学ぶことが多いと思います。一方で、自己決定そのものに慣れない国においては、ひとたび実行すれば主体が存在しなくなるという究極的な自己決定のあり方については、丁寧に多くの議論の時間をかける必要があることも確かだと思っています。

りすシステムが、最期をめぐるさまざまな事柄に関する決定について、それを実現させるために、大きな役割を果たされていることは改めて言うまでもありませんが、それには自分自身が決定しなければなりません。

そのためには、結局のところ、日常生活の小さなことを大切に選択する習慣を積み重ねて、毎日を丁寧に生きていくことが大切なのではないかと感じています。

連載コラム

暮らしの中の法律〈第五回〉

弁護士 長谷川 範子

『近隣トラブル』発生

先日、某市で行われた市民法律相談のことでです。

「5年前に兄が亡くなったとき、入院費用を払ってくれと病院から言われたが、保証人じゃないから払えないと断った。今になって『法定相続人だから支払え』との督促状が届いた。どうしたらいいか？」とのご相談がありました。

お話を聞くと、お兄さんに子はなく、ご両親も亡くなっているということでしたから、相談者はまさしく法定相続人として債務を承継しているということが分かりました。

「5年前に電話をもらったとき、相続放

棄をしていればよかったのですが、相続放棄はしなかったのですか？」と聞きますと、「え、相続放棄って？3ヶ月以内？何ですか、それ？」とのお答え。「残念ながら、もう相続放棄は出来ませんよ。」とお答えするほかありません。

私は、りすシステムの利用者さんにとっては常識的な事であっても、一般市民の皆さんには生活する上で不可欠な法律知識が全く浸透していないことに、ガッカリしました。

最近では小中学校でも「法教育」と銘打って、法的な思考を学ぶ特別授業を取り入れる学校も出てきましたが、それほど多くはありません。

中学校や高校で、一般市民が関わる可能性の高い分野について最低限の法的知識を学ぶカリキュラムが生まれ、法的な知識が

広く一般市民に広まるのが大切だと痛感したエピソードでした。

さて、このご相談に関しては、医療費が3年の消滅時効にかかるという民法170条の規定により、消滅時効を援用すれば債務を逃れることが出来るのではないかとアドバイスしたところ、相談者は少しほっとした表情でお帰りになりました。

りすシステムの利用者の皆さんは、ちょっとしたことでもアドバイザーに相談するか、必要に応じて法律相談にお出で下さい。（日程等の詳細は本誌10ページのお知らせを参照ください）

本 題です。「お隣に住んでいる住人が発する騒音に耐え切れません。お隣に退去してもらいたいのですが、何か方法はありますか？」。

いわゆる、『近隣トラブル』の発生です。

一言で『近隣トラブル』といっても、近時は民法に規定されている境界や通行等に限らず、プライバシー、日照、景観、眺望、騒音、ペット、振動、悪臭、マンション管理等々、現代型のトラブルが増え続けてい

る印象がありますが、皆様の周囲ではいかがでしょうか？

これまで私が担当した案件では、通行（自宅に至る通路が封鎖されてしまったケース等）と騒音に関するものが最も多く、それ以外では日照（隣地にマンションが新築されるケース等）、プライバシー（隣地に戸建てが新築されるが、出窓が大きく私の家に向いていてプライバシーが侵害されるケース等）、マンション管理（管理費の滞納等）などの相談も受けるようになってきました。

いわゆる近隣トラブルは、民法の大原則である「所有権絶対の原則」を制限する必要の生ずる例外的な場面といえます。

騒音やプライバシーの問題は、人口密度が低く隣家との間に空間的な余裕があれば発生しにくい問題と言えますが、たとえば自分の土地であっても、隣人（隣地）との位置関係でその使用方法が制限されたり、逆に自分の土地でないのに利用することが許されたりすることがあります。社会生活を営む以上、所有権の枠を超えて、隣地との間で権利義務の調整を行うことが必要とされているわけです。

さて、冒頭のいわゆる『騒音問題』は、

一旦発生すると当事者は絶えず大変な苦痛にさらされ、解決までの精神的苦痛ははかりしれません。

時に精神を蝕まれ、あるいはニュースで「騒音が原因で近隣住民間のトラブル発生」と刑事事件にまで発展することもあるほどです。被害者はたまたまそこに居合わせただけで何の非もないことも多いため、明日は我が身とはこのことだと、寒気さえ感じます。



誰

しも音を出さずに生活することは不可能です。ただし、周囲に気兼ねなく暮らせる庭付き一戸建てと異なり、アパートやマンションなどの共同住宅で何の配慮もなく生活をすれば思わぬ騒音を出し、近隣に迷惑を掛けることにもありうるでしょう。

そこで私たちは「周囲に迷惑をかけないように、できるだけ大きな音をたてないように」注意しながら暮らすこととなります。

ただ、音の感じ方は人それぞれ異なりますから、同じ音でも「この程度の音は騒音ではない」と感じる人もいれば、「こんなひどい騒音は許せない！」と感じる人もい

るために、トラブルに発展しがちなのです。音の感じ方は人それぞれであることから、画一的な処理がしにくいという大変難しい問題をはらんでいるのです。

こ

こで法律に目を向けると、一般に日常の生活音を直接的に規制する法律は無く、地方自治体が定めた条例などにより間接的に規制されています（例えば東京都の『都民の健康と安全を確保する環境に関する条例』（環境確保条例）など）。

裁判例の中には、この条例に規定されている基準を事案に当てはめて、受忍限度の範囲にとどまっているかを判断しているものもありますので、参考になります。

ここで「受忍限度」という言葉が出てきましたが、これはごく簡単にいうと「社会通念上、我慢できる範囲」という意味で、その範囲にとどまっている場合には、その行為は違法ではなく、不法行為として損害賠償請求や、差し止め請求が認められないということになります。

また、住宅の品質確保の促進等に関する法律によって、良質な住宅を提供すること間で間接的に音環境が確保されるような仕組みもあります。

騒音に関する問題が発生したとき、まずは管理組合を通じた注意喚起、さらには管理会社に仲裁してもらうかたちの話し合いを経ることが多いようです。

しかし、注意喚起や話し合いでは問題が解決しないことも多いため、裁判所の手続きをとる場合もあります。その場合には、管轄の簡易裁判所で調停による話し合い、次に、地方裁判所での訴訟と進むことになります。

騒音に関する問題は、裁判によって一刀両断に解決できる性質の問題ではないため、やはり調停を含めた話し合いで解決することをお勧めしていますが、どうしても解決しない場合には裁判に頼らざるを得ません。

それでは、近時の具体的な裁判例の概要を見てみることにしましょう（事案の内容は変更しています）。



【事例】 階下に居住するロックミュージシャンであるAの音楽活動に伴う歌声が受忍限度を越えるとして、上の階に住む住人B夫妻がAに対して①騒音の差止め②約1200万円の請求をした事案

B夫妻は、下の階の住人Aの作曲する際の歌声が、受忍限度を越えるとして、騒音の差し止めと損害賠償を請求して裁判を起したという事案です。

裁判では『Aの歌声が不法行為にあたるか?』という点が、主として争われました。

この争点についてB夫妻は、①Aが殆ど毎日、深夜を含めた長時間、長い時には10時間くらい歌っていることも頻繁にあった。②Aの歌声はB夫妻宅のどこにいても歌詞がはっきり聞こえるほどに大きく、B夫妻自ら測定したAの歌声は、窓を閉めていても60〜80デシベルに達する音としてB夫妻宅に聞こえてきていた。③B夫妻は騒音によりストレス症状を発症し、精神安定剤等の薬を大量に摂取していたことから、体調の悪化を招いた。などと主張しました。

これに対しAは、①歌を歌っている時間は長く見積もっても1時間半から2時間程

東京都の条例で定められている環境基準

（人の健康を保護、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準、抜粋）

	第一〜二種低層住宅専用地域	商業地域
午前6時から8時まで	40 デシベル	55 デシベル
午前8時から午後7時まで	45 デシベル	60 デシベル
午後7時から午後11時まで	40 デシベル	55 デシベル
午後11時から翌日午前6時まで	40 デシベル	50 デシベル

音源の存する敷地と隣地との境界線における音量を上のように規制しています

度であり、正午から午後8時までの間にやっていた。②専門業者が実施した騒音測定の結果は、最大でも41デシベルにすぎなか

った。③B夫妻の体調悪化はB夫妻の特別な事情（本来的にストレス症状を抱えていた）から発生したと考えられ、受忍限度を越えているか否かの判断は通常人を基準として行うべきである。と主張しました。

さて、裁判所はどのような判断をしたのでしょうか。

裁

判所は、Aが発生させる音がどの程度のものであるかを確認するため、『検証』という手続きによって、B夫妻の

居室内で、A宅から聞こえてくるAの歌声の音量を測定しました。その結果、最大で41デシベルという結果が得られました。

そして、A、B夫妻それぞれの主張については、本人尋問等の結果を踏まえて、次のように判断しました。

①Aは、年に数回程度は深夜の時間帯に歌うこともあった。

②検証の結果をもとに、B夫妻宅に伝わるAの歌声の騒音レベルは最大41デシベルであった。そのため、少なくとも深夜の時間帯以外においては、通常人において特段不快に感じるようなものではないとみとめられる（深夜の時間帯においてのみ不法行為を認めた）。

1音についての基礎知識

音の大きさはデシベル (dB) という単位で表示され、その目安はおおよそ下表のようになります

日常生活音のいろいろ		音の大きさ (デシベル)
家庭用設備	エアコン	約 41 ～ 59
	温風ヒーター	約 44 ～ 56
	換気扇	約 42 ～ 58
	風呂又は給排水音	約 57 ～ 75
家庭用機器	洗濯機	約 64 ～ 72
	掃除機	約 60 ～ 76
	目覚まし時計	約 64 ～ 75
	電話のベル音	約 64 ～ 70
音響機器	ピアノ	約 80 ～ 90
	エレクトーン	約 77 ～ 86
	ステレオ	約 70 ～ 86
	テレビ	約 57 ～ 72
その他	犬の鳴き声	約 90 ～ 100
	子供のかけ足	約 50 ～ 66
	ふとんをたたく音	約 65 ～ 70
	車のアイドリング	約 63 ～ 75
	人の話し声 (日常)	約 50 ～ 61
	人の話し声 (大声)	約 88 ～ 99

注：この表は、東京都環境局「生活騒音」より引用

③深夜の時間帯における歌声を不法行為とした場合、これを原因としてB夫妻の体調悪化が起きることが通常であるとは言いがたく、予見可能性もない。因果関係は認められない。

その結果、B夫妻両名に対して合計36万円の損害賠償が認められ、当初の請求の損害賠償1200万円と差し止め請求のほとんどは棄却されることとなりました。

『騒音』をどう捉えるか、両当事者の認識の違いには大きな隔たりがあることは当然ですが、特にこの種の問題に関しては、

裁判で本当の解決につながるのか、疑問な場合も多いというのが印象です。明らかに騒音については、客観的な資料を基に適切に対応すべきではありますが、主観的な要素を多く含む場合にはより柔軟な対応を模索できる調停によることがむしろ解決に近いこともあり、ケースバイケースで適切な対応をとることの難しさを感じる問題です。

実際、最近私が担当した事件でも、「どう考えてもこれが受忍限度を超えているとは思えないような『日常生活音』に対して過剰に反応する隣人への対応を通じ、根本的な事件解決の難しさを痛感したものです。



いす友 おたより 紹介コーナー



日本水彩展・地方巡回展鑑賞会の感想をお寄せいただきました

9月9日京都展

北風がふき、やっと秋らしくなりました。皆様おかわりございましたか。9月の水彩展でお世話になり、ありがとうございました。

別館で狭いエリアの展示でしたので、とても見やすく気に入った絵は長く見られよかったです。説明もわかりやすく、どこを見たらよいか納得しました。

早くついたのに外でウロウロなどせず、2階の展示作品をみたかったと、自分のうかつさに少し残念!! 来年は早めの中に入り、みられない作品も見ようと思いました。来年も楽しみに待っています。

少しづつ寒くなります。カゼなどに気をつけて元気にお過ごし下さい。ありがとうございました。

大阪府

村上秀美様



9月24日松山展

日本水彩展・松山展の鑑賞会にお誘い頂き、有難うございました。参加者が少なかつたにもかかわらず、行き届いたお世話を頂き恐縮しました。また、広島支部の支援まで頂きました。

穏やかな雰囲気の中、福井先生の巧みな話術での解説で水彩画を鑑賞し、先生ご自身が絵を描く実演まで拝見することが出来ました。

またお茶会では、再び絵をお描きいただき、それを目の前で見られたほか、杉山代表と皆様の会話がとても楽しく、好感が持てました。お蔭で、満悦気分での帰路につきました。企画して頂いた皆様方に大変感謝しています。

以上、簡単ですが、水彩展鑑賞会参加のお礼まで。

松山にまたお越しください。

愛媛県・仙波良雄様

仙波有香子様



本誌255号(10月号)掲載の松島相談役「北朝鮮問題 日本の立ち位置これで良いのか!!」への感想をいただきました

りす倶楽部10月号の松島氏のご意見、全面的に賛同します。

松島氏の各分野への目配りのすごさに感服すると共に、平和への想いと、それに反するものへの怒りは、私も同じ思いで、感銘を深くしました。

22日の総選挙では、事態急変の中で、状況が良くのみ込めないうちに実施されたためか、思わぬ結果となりました。

戦争への道を回避し、国民のあたり前の平安を守るために努力している勢力が、減少してしまったことが残念です。私たちは主権者であり、憲法の精神を前にすすめる力であることを忘れずに生きていきたいと思っています。

東京都・内田和美様

りす倶楽部255号の松島相談役の文章を拝見しました。全く共感し、全面的に賛同いたします。

松島如戒という方は、このような社会の見方をされておられる方と知り、大変うれしく思いました。りすシステムは常々「家族」という言葉を使われます。松島氏は父親という

ことになります。父親がこのような良識のある方と知ることが出来、熱い思いがあります。

いつぞや「りす」の集まりに参加しました折、松島相談役にご挨拶いたしました方が反応されず、淋しい思いが残りましたが(大勢の会員ですから仕方ありません)、この文章を拝見して松島氏のお人柄を知ることが出来、心から安心し、りすへの深い信頼が続けることが出来るという思いは、会員にさせて頂いた私にとって、かけがえのないものです。この上は、相談役のご健康が続き、長くシステムの成長を見守って下さる存在でありつづけて下さいますよう、切に願っております。

私はまだ入会したばかりです。「なんでも談話室」にも、こもりがちな性格のため参加できずにおります。が、多くの手に負えない問題を抱え、伺わずにはおれなくなりました。その節は宜しくお願い申し上げます。

よい文章を読ませていただき、一筆せずにはおられませんでした。

匿名の方より

原稿をお寄せ下さった方へ年齢の所為にしては申し訳ないのですが、眼も耳も少々衰えており、失礼の段お詫び申し上げます。

(松島如戒様)

セコム・ホームセキュリティのご案内

日頃から健康や防犯に気を付けていても、突然何が起こるかわかりません。りすシステムが推奨する「セコム・ホームセキュリティ」は、24時間365日休みなく、あなたの「もしもの時」に対処します。救急通報・センサーによるライフ監視・防犯・火災・非常通報等に対応し、電話の応答がない場合はセコムの緊急対応員がただちに駆けつけます。異常があった場合には119番と同時にりすシステムに連絡が入ります。いのちと暮らしを守るため「セコム・ホームセキュリティ」の設置をお勧めします。



セコム説明会のご案内

東京

【日時】12月11日(月) 15:00～15:30
12月15日(金) 12:30～13:00
16:00～16:30
1月15日(月) 12:30～13:00
16:00～16:30
1月23日(火) 15:00～15:30
【会場】NPOりすシステム 北の丸ガラスゲート 1F
東京都千代田区九段北 1-4-5

【最寄駅】東京メトロ半蔵門線・東西線・都営新宿線
「九段下」駅(3・5・7番出口) 徒歩5分

【日時】12月12日(火) 10:00～11:00
1月12日(金) 10:00～11:00

【会場】りすセンター新木場 東京都江東区新木場 4-6-13
【最寄駅】東京メトロ有楽町線・JR京葉線・高速りんかい線
「新木場」駅よりバス8分

※新木場駅から送迎の用意があります

※参加希望の方はご連絡ください

名古屋

【日時】1月10日(水) 13:00～14:00

【会場】NPOりすシステム中部日本支部

名古屋市中村区名駅 3-13-28 名駅セブンスタービル 1211

【最寄駅】JR「名古屋」駅徒歩5分

※参加希望の方はご連絡ください

大阪

【日時】12月23日(土) 14:15～15:00

【会場】NPOりすシステム西日本支部

大阪市北区東天満 1-10-14 MF 南森町 2ビル 4F

【最寄駅】地下鉄谷町線/堺筋線「南森町」駅徒歩3分

JR東西線「大阪天満」駅徒歩1分

※談話サロン終了後、セコム担当者が機器の操作方法、契約時や月々の費用、工事について等の説明をいたします。参加希望の方は12月20日(水)までにご連絡ください。

説明会参加お申込みは下記までご連絡ください

りすシステム ☎ 0120-889-443



急病時などは、ペンダント型の「マイドクター」を握るだけで、救急信号がセコムに伝わります。



室内の人の動きをセンサーで確認。一定時間動きが確認できなければ、異常事態が発生したと判断し、セコムが対応します。

私たちが
担当します！

坂本 はるか
(さかもとはるか)
アシスタント

■出身地：
島根県隠岐の島
■趣味：カラオケ
ピアノ、旅行
■性格：明るい



土屋 美幸 (つちやみゆき)

■出身地：埼玉県朝霞市
■趣味：季節の植物めぐり
ヨガ、森林浴
■性格：マイペース
素直



ご自宅でお困りごとやご不安はございませんか？セコム・ホームセキュリティで皆様の安心・安全な暮らしのサポートをいたします。使い方はとっても簡単！お気軽にご相談ください。

セコム・メディカルクラブ

耳よい
情報！

セコムでは契約された方への生活安心サービスとして「セコム・メディカルクラブ」を設けています。24時間365日豊富な経験を持つ看護師が対応する電話健康相談サービスや、医療機関情報の検索サービスなど、健康に役立つ情報を契約者の方々に提供しています。わざわざ病院に行くほどではないけれど、健康上のちょっとした不安があるときなどこのサービスをご利用ください！

《お知らせ》

どの支部の行事でも参加できます。
事前に連絡の上、ご参加ください。

東日本支部

相談会

暮らしのよろず相談会

▽日時…12月20日(水) 10時～16時

1月20日(土) 10時～16時

▽会場…北の丸ガラスゲート1階

▽担当…

森 妙子(消費生活アドバイザー)

生前契約スーパーバイザー)

松島如戒(不動産コンサルタント)

杉山 歩(NPOりすシステム代表理事)

末藤康宏(りすネット不動産事業部)

宅地建物取引士

福祉住環境コーディネーター)

▽締切…1週間前までにお申込みください

東日本支部

法律相談

▽日時…12月14日(木) 13時～15時

2月13日(火) 13時～15時

▽会場…北の丸ガラスゲート5階

▽担当…長谷川範子弁護士

▽締切…1週間前までにお申込みください



東日本支部

見学会

りすセンター新木場 見学会

▽日時…12月12日(火) 13時30分～

1月12日(金) 13時30分～

▽会場…りすセンター新木場

▽締切…前日までにお申込みください

※新木場駅から送迎の用意があります

※Ai(死亡時画像診断)装置の見学もできます

西日本支部

談話サロン

▽日時…12月23日(土) 12時～14時

1月は新年会です

▽会場…西日本支部事務所

▽参加費…500円(軽食をご用意します)

▽締切…3日前までに

お申込み下さい



西日本支部

法律相談

▽日時…12月20日(水) 13時～15時

1月17日(水) 13時～15時

▽会場…西日本支部事務所

▽締切…1週間前までにお申込みください

忘年会・新年会

全支部の新年会に、りすシステム代表杉山が
参加いたします。たくさんの皆さまのご参加
をお待ちしております

お申込みの方に詳細をお送りします

北日本支部

忘年会

忘年会はカラオケです。一緒に大きな声で歌
い、元気に新年を迎えましょう!

▽日時…12月12日(火) 12時～

▽集合…仙台市青葉区中央3・6・1

仙台TRビル1F(旧十字屋)

愛宕上杉通側入口前 12時集合

▽会場…カラオケスタジオ

▽参加費…3000円

▽締切…12月10日(日)

※りすシステム代表杉山も参加いたします



東日本支部

新年会

2018年の新年会は、横浜市中区山下町の
萬珍樓本店での開催です

▽日時…2月5日(月) 11時30分～

▽会場…萬珍樓本店

▽参加費…3500円

↑(次ページへ続く)

▽定員…100名

▽締切…定員になり次第締切いたします

中部日本支部 新年会

美味しいお食事とおしゃべりで新年をお祝いしましょう！

▽日時…2月9日(金) 11時30分～

▽会場…ウエスティンナゴヤキャッスル

▽参加費…4000円

▽締切…1月30日(火)

西日本支部 新年会

落ち着いた雰囲気のレストランで、新年の抱負を語り合いましょう。弁護士の小見山先生もご参加予定です

▽日時…1月23日(火) 12時～14時

▽会場…フレンチ&チャイニーズレストラン「モンスレー」

大阪新阪急ホテル地下1階

▽参加費…4000円

▽締切…1月16日(火)

九州支部 忘年会・新年会

プチ忘年会を開催します。恒例のスタッフによる手作り料理、さて今年は？ご期待ください！

▽日時…12月29日(金) 12時～14時

▽会場…りすシステム九州支部

▽参加費…1000円

▽締切…12月28日(木) 18時

新年会はしゃぶ禅で行います

▽日時…1月18日(木) 12時～14時

▽会場…日本料理しゃぶ禅昭和通大名店

▽参加費…3500円(博多おせち・飲食代)

▽締切…1月16日(火)

大分支部 新年会

季節を感じる屋上庭園のあるレストランで新しい年の始まりをお祝いしましょう

▽日時…1月19日(金) 11時半～14時

▽会場…ホテルブラッサム大分8階

レストラン「庭の食卓・四季」

▽参加費…3000円

▽締切…1月15日(月)

お花見 3月30日(金)

懇親会会場

ホテル椿山荘東京

プラザ4階 ジュピター

時 間：12時～14時

参加費：4,000円(予定)

定 員：150名(予定)

※詳細は次号でお知らせします

なんでも談話室だより

りすシステム生前契約スーパーバイザー

黒澤淑子

10月18日(水) 東日本支部

今日の始まりは「フレイル」から。「要介護状態になる前の虚弱」状態のこと。食欲減退で体重が減り、疲れやすく、動くことも少ないという負の連鎖が、身体機能の低下を招く。予防と治療が大切になってくるようだ。

時は食欲の秋！山芋が話題に上る。比較的安価な秋の味覚。摺り下ろして、ご飯にかけるだけでなく、煮てもよし。おでんにもよし。自然薯は高価でも、山芋なら度々顔見せ可能。食欲もいけど運動も大事。残月を見ながら6時には公園で太極拳。ゆるやかに一日が始まる話も素敵です。

そして昼食。右や左のお隣とお喋りが、もう一品の名菜となっている。

午後からはりすシステムの仕事の範囲の話。利用者さんの身近に問題発生。御自身が動くことは無理。さあどう対応するか？その時適切な指示があれば、りすシステムは利用者者に代わって仕事を引き受けることが出来る。もちろんりすシステムとの契約があつてのことです。

欲しくなくても年を重ね「フレイル」になってしまう。御自身以外で起きる艱難辛苦も、りすは決して「お留守」にはしません。

支部



活動記

北海道・北日本支部

▼有料老人ホームに入居しているHさん（87歳・女性）。ホームの規則により、外出には必ず付添いが必要なので、りすシステムのサポートを利用しています。

そんなHさんから、衆議院の選挙に行きたいとの依頼がありました。10月22日の投票日に付添う予定でしたが、台風接近の予報でしたので、期日前投票をすることに。会場では単独の行動で少し心配でしたが、足取りもしっかりと、無事に投票を終えました。

現在87歳のHさんは、戦中戦後をたくましく生き抜いてきた方。大切な国民の権利は絶対に放棄しないという、強い意思を感じました。

▼最近、施設の相談員や地域包括支援センターの職員から「身元引受保証人になる人がいなくて困っている」等の相談が増えています。

そこで先月、そういった職員の方々にお集まりいただき、説明会を

実施。「お陰様で、地域の方に自信を持つてりすシステムを紹介できました」と好評でした。

最近こんなお話を聞きました。昔から「遠くの親戚より近くの他人」と言われているけれど、身元引受保証など法律行為を伴うことについては、どんなに親しい友人でもその役割は出来ない。やっぱり、遠くても親族ですよ、というものでした。遠くの親族に代わる役割が出来るのが、りすシステムです。そんなお話をしたら、皆さん大きくうなずいていました。

東日本支部

▼96歳で一人暮らしのSさん（男性）。これまで年に数回は元気な姿を見せに、本部事務所を訪ねてくれています。

ところが9月のある晩、近隣の警察署から緊急コールに連絡が入り、Sさんが道で転んで救急搬送されたとのこと。すぐりすシステムのス

タッフが駆け付けました。幸い外傷だけで、本人も「大丈夫」とのこと。で安心しましたが、高齢ということもあり、今後の生活に多少の不安が残りました。

そんなことがあつてから一週間後、今度は地域包括支援センターの職員から「近所の方から、ここ数日Sさんの部屋から物音が聞こえないと言われています。電話にも出られません」という連絡が入りました。

一週間前の転倒のこともあり、自宅に安否確認に行つてもらうようお願いしました。りすシステムのス

タッフが自宅の鍵を持って駆け付けた時、支援センターの職員がドアの前で待機していました。万一のこともあるため近くの交番から警察官を呼んで自室に入ると、Sさんは衰弱してベッドに横たわっていました。意識がはっきりしていないため救急車を要請、受診歴のある病院へ搬送されました。

一通りの検査を受けたあと、その病院のベッドが満床のため、検査データを持つて転院先の病院へ向かいました。

転院先で応急処置や点滴を受けるのと、Sさんから言葉も出るようになり、ようやく落ち着きを取り戻しま

した。転倒がもとで身体を動かすことが大変になり、数日間食べることにも飲むことも出来ず、脱水状態になっていたようでした。

もともと自立心が旺盛でしっかり者のSさんですが、さすがに今回のことで独居が続けることが難しいと実感したのか、退院後は施設で暮らすことに同意され、施設探しはりすに任せて下さることになりました。

その後は順調に回復にむかい、入院中に介護申請や転居先の施設職員との面談を済ませ、退院と同時に介護付の老人ホームに入居しました。

転居後の住宅の退去手続きやライフラインの停止・解約、残置物の処分などを行いました。様子を気にかけていた近隣の方々にも、Sさんが無事に老人ホームに転居したことを伝えると、安心したと喜んでくださいました。

いつも飄々として前向きなSさん。これまで一人で頑張つてこられました。これからはホームのスタッフに見守られ、以前にもまして元気になれることを願っています。



中部日本支部

▼末期がんを患い、在宅で緩和ケアを受けているFさん（92歳・女性）。

りすシステムの「医療上の判断に関する事前意思表示書」の「病気の診断告知に関する希望について」は、「病名、余命ともに告知を受けたくない」と記入しています。がん末期の痛みもあり、本人は緩和ケア病棟への入院を希望しましたが、告知を受けていないため、緩和ケア病棟への入院は出来ません。

Fさんへは往診医から「がんではないFさんは、緩和ケア病棟への入院は出来ません。在宅で痛みのコントロールをしていきましょう」と説明し、納得されました。

ホスピス緩和ケアを受けるための条件として、NPO日本ホスピス緩和ケア協会では、次の4つの条件を定めています。

（1）悪性腫瘍等の生命を脅かす様々な疾患に罹患し、ホスピス緩和ケアを必要とする患者およびその家族等の介護者を対象とする。

（2）患者と家族、またはその何れかがホスピス緩和ケアを望んでいることを原則とする。

（3）ホスピス緩和ケアの提供時に患者が病名・病状について理解していることが望ましい。もし、理解していない場合、患者の求めに応じて適切に病名・病状の説明をする。

（4）家族がいないこと、収入が乏しいこと、特定の宗教を信仰していることなど、社会的、経済的、宗教的な理由で差別はしない。

病名、余命の告知を受けるか受けないかはご自身の決断ですが、告知の有無により、緩和ケア病棟に入院できない場合もあります。〈医療上の判断〉の見直し、変更はいつでも可能ですので、ご希望される方はご連絡ください。

西日本支部

▼訪問介護・看護を利用しながら一人暮らしをしていたTさん（83歳・女性）。介護事業所の紹介でりすシステムを知り、昨年契約しました。

高齢のため足腰が弱っていたTさんは、公証人に自宅へ出張いただき、公正証書を作成。財産のことも決めておきたいと、個人財産の遺言も同時に作成しました。一連の手続きがすみ、ホッとしていたTさんの笑顔

がまぶたに浮かびます。

そんなTさんが先日、脳梗塞で救急搬送され、1週間後に亡くなりました。企画書には親族の記載がなかったため、死亡届は病院長にお願いしました。

しかし斎場から「大阪の斎場では、死亡届出人が第三者（親族以外）の場合、その死亡届出人が遺骨引取りの責任を持つ旨の誓約書が必要で、この斎場でも必要です。誓約書がない場合、お骨は1年間役所で預かることとなります」とのこと。

これを病院側に伝えたところ、お骨の責任までは持てないので、死亡届出人にはなれないとの返答がありました。

どうしたものかと思案していた矢先、菩提寺の住職からTさんの本籍地にいると住んでいるとの情報を得、その方に死亡届出人になっていただくことで、一件落着きました。

先日、納骨の相談で菩提寺の住職を訪ねた際、「T家の個人墓にはご両親とご先祖が眠っており、今後、墓守がいらないような境内にある合葬墓へ移す必要がある」とのお話がありました。費用のことなども含め、現在、住職と打ち合わせをしています。

中国支部

▼人生をより楽しむ、を实践されている方々を紹介します。

ガンを克服したMさん（78歳・男性）は、若い頃から大の旅行好き。人生に悔いを残したくないという思いから、軽自動車をキャンピングカーに改造し、時間をかけて、高知や飛騨高山を周る旅を続けておられます。

断舍離を決意したIさん（75歳・男性）は、趣味で集めたDVDや本などを整理し、住みなれた土地を一時的に離れ、ウィークリーマンションへ転居しました。人や物への執着、雑念を捨て去り、自分自身を見つめ直す機会を得たと話されています。

全国で開催しているりすシステムの催しに、積極的に参加しているSさん（87歳・女性）。この夏も、日本水彩展の京都展鑑賞会に、西日本支部の方々と参加しました。

お三方とも、今できることを精いっぱい楽しみ、興味のあることに積極的な毎日をお過ごしです。外出の機会が減った、人生に刺激がなくなった、そんなことがありましたら、りすシステムの行事に参加してみませんか。全国どの支部の行事でも参

加できます。

一人で参加するのはちょっと不安という方は、スタッフがサポートしますのでご安心ください。参加した方から、利用者同士の交流を深めることが出来た、とお声もいただいています。

九州支部

▼住みなれた自宅で一人暮らしをしているOさん（80歳・女性）。本人、りすシステム、ケアマネージャーで話し合い、セコム設置、訪問看護・リハビリ・訪問歯科、かかりつけ医の往診、そして自費の家政婦支援を受け、生活しています。

そんなOさんから永代供養についての相談がありました。現在Oさんは先祖代々のお墓の墓守で、Oさんが亡くなった後の承継者はいません。企画書には永代供養料として予算を計上していますが、費用に関して菩提寺に確認したことはなかったので、確認して欲しいとの依頼を受けました。

お寺によると、O家の永代供養料300万円以上、Oさん自身の永代供養料100万円以上、お墓から納骨堂への移動50万円以上とのこと

した。

Oさんは、通夜葬儀、戒名、お経などは不要と考えていましたが、住職は、そのような方のお骨を引き受けたことはありませんと、通夜葬儀の読経のお布施30万円以上（お車代別）、戒名（9文字）30万円以上で、Oさんが永代供養を行うには、合計で500万円以上の準備が必要とのことでした。

Oさんに報告したところ、これまで先祖を守ってきたことが水の泡にならないよう、永代供養を依頼したいとおっしゃっています。

▼6年前に亡くなったWさん（84歳・男性）は、通夜葬儀を行わなかったことで、納骨がスムーズに進みませんでした。

納骨に必要なことをWさんがお寺に確認する予定でしたが、その前にWさんが急死したことが原因です。Wさんの死後、りすシステムのスタッフと住職が話し合い、無事に納骨をすることができました。

▼通夜葬儀に読経を行わなくても、納骨できるお寺もあります。本誌254号で紹介したNさん（98歳・男性）の場合は、通夜葬儀に読経を行わなくてもよく、お布施もお気持ちで、とのことでした。

納骨するため、通夜葬儀に読経が必要なのか、戒名が必要なのか、費用はどれくらい必要かなど、大きな違いがありますので、お寺に確認しておくことが大切です。ちよつと心配という方はご相談ください。

大分支部

▼東日本支部のTさん（87歳・女性）から、「大分にあるお墓に両親と姉が埋葬されているので、功德院大分本院へ改葬したい」との依頼がありました。

市役所から改葬許可申請書を取り寄せ手続きに入りましたが、Tさんからもらったメモに墓地住所の番地がなかったため場所が特定出来ず、埋葬されている事実を証明してくれる人も見つかりませんでした。

メモを頼りに、市役所の担当者に航空写真地図で調べてもらいましたが、その一帯には樹木が生い茂り、墓地らしき場所は見当たりません。

さてどうしたものかと思案していた矢先、Tさんから「亡くなった兄が納骨堂を買った時の領収書などが姪から送られました」と、書類が送られてきました。

それを手掛かりに調べていくと、

すでにお兄様の納骨堂の権利はなくなっていました。納骨堂の関係者から墓地を案内できるというAさんという方が見つかりました。Aさんのお宅を訪ね、車で山奥の墓地に案内していただきました。やつとのこととお墓が見つかり、Aさんに証明して頂いた申請書を市役所に提出し、ようやく改葬許可証をいただくことができました。

後日、僧侶に墓石の魂抜き、供養をしてもらい、墓石の撤去、お骨の掘り出しに取り掛かりました。しかしいくら掘ってもお骨はなく、Tさんに確認したところ、土葬だったということが判明しました。そこで、お骨の代わりに三休分の土を功德院に納めることにしました。

功德院大分本院で執り行われた納骨法要には、東京からTさん、岐阜から妹さん、久留米から姪御さんが参列されました。

後日、Tさんから「ずっと気にかかっていた改葬が終わり、きれいな空気の中、静かな功德院に納骨していただき、ほつとしています」とお礼のお便りをいただきました。





左胸のロゴマークが
とってもカワイイ
地球に恩返しTシャツ

地球に恩返しTシャツ

カラフルでかわいいロゴ付きの「地球に恩返しTシャツ」
お買い上げ金額の一部を、りすシステムから地球に恩返し基金へ
寄附いたします。ご協力、よろしくお願いいたします。

定 価：2000 円（送料込み） サイズ：S・M・L
カラー：ホワイト・ピンク・イエロー・ライトグリーン・ライトブルー

* 通信販売も承ります。ご希望の方は、
りすシステム 0120-889-443 までご連絡ください。

地球に恩返し運動について

私たちの生命を育んでくれている地球!! このやさしい地球に
少しでも恩返しをして、次世代に美しい地球を残しませんか。
皆さまのご寄附で「地球に恩返しの森」に植樹ができ、銘板に
あなたのお名前が刻まれます。

※匿名希望の方は、振込用紙の「通信欄」に「匿名希望」と、ペンネーム希望の
方は「ペンネーム」を明記の上、「ご依頼人欄」には必ずお名前をご記入ください。

NPO りすシステム
NPO 地球に恩返しの森づくり推進機構

地球に恩返し運動本部

連絡先：TEL.03-5215-2383



地球に恩返し 基金振込先

● 郵便局から振り込む場合

郵便局口座番号：00140-7-743432

加入者：地球に恩返し基金

● 他行からゆうちょ銀行に振込む場合

店名：〇一九（ゼロイチキョウ）

種目：当座 口座番号：0743432

加入者：地球に恩返し基金



「地球に恩返し」基金に寄附をいただき、ありがとうございました。

内田 ミナ子さん（東京都豊島区）
大貫 嘉子さん（神奈川県川崎市）
鯉淵 歌子さん（東京都北区）
田口 明さん（神奈川県川崎市）
田口 春子さん（神奈川県川崎市）
手坂 祐司さん（東京都杉並区）
糠信 八重子さん（東京都品川区）

野上 千寿さん（埼玉県上尾市）
野上 マリ子さん（埼玉県さいたま市）
畑中 百枝さん（千葉県白井市）
朴 敏寛さん（東京都北区）
本堂 美奈子さん（埼玉県吉川市）
丸茂 道子さん（東京都足立区）

匿名 1 名 50 音順



※ 2017 年 10 月 1 日～10 月 31 日の期間、14 名の方からご寄附をいただきました。
※匿名 1 名が 1000 ポイントを達成されました。

●なんでも談話室●

◎なんでも談話室は、開催時間中ならいつでも自由に参加できます。

北海道支部	日時：12月6日（水）11時～15時 ※1月はお休みです	会場：北海道支部事務所
北日本支部	※12月はお休みです 日時：1月30日（火）11時～15時	会場：北日本支部事務所
東日本支部	日時：12月11日（月）11時～15時 日時：1月23日（火）11時～15時	会場：北の丸ガラスゲート1階 会場：北の丸ガラスゲート1階
中部日本支部	日時：12月10日（日）13時～15時 日時：1月10日（水）13時～15時	会場：中部日本支部事務所1211号室 会場：中部日本支部事務所1211号室
中国支部	日時：12月2日（土）13時～15時 日時：1月6日（土）13時～15時	会場：中国支部事務所 会場：中国支部事務所
四国支部	日時：12月25日（月）13時～15時 日時：1月25日（木）13時～15時	会場：四国支部事務所 会場：四国支部事務所
九州支部	※12月29日（金）はプチ忘年会を開催します。詳しくは11ページを参照ください 日時：1月29日（月）13時～15時	会場：九州支部事務所
大分支部	日時：12月22日（金）13時～15時 ※1月はお休みです	会場：大分支部事務所

●談話サロン●

西日本支部	日時：12月23日（土） ※1月23日（火）は新年会です。詳しくは11ページを参照ください。
-------	--

●生前契約説明会・ステップアップ相談会●

支部	電話番号	生前契約説明会		ステップアップ相談会	
北海道支部	011-756-4165	5日（1月休み）	13:30～15:00	随時開催	
北日本支部	022-797-2072	2日（1月休み）	13:30～15:00	随時開催	
東日本支部	0120-889-443 03-3511-3277	10日	11:00～13:00	15日	11:00～12:30
			14:30～16:30		14:30～16:00
		24日（3・9月休み）	13:00～15:00		
中部日本支部	052-569-2254	25日	13:00～15:00	随時開催	
西日本支部	06-6809-2289	7日	10:30～12:00	26日	10:30～12:00
			14:00～15:30		14:00～15:30
中国支部	082-568-1585	28日	10:30～12:00	随時開催	
四国支部	089-933-5670	25日	10:00～12:00	随時開催	
九州支部	092-738-2718	24日	13:30～15:00	随時開催	
大分支部	097-538-6263	27日	13:30～15:00	随時開催	

例会・見学会・談話サロン・法律相談のお申込み先

 0120-889-443

生活支援テレホン

 0120-332-206

24時間365日いつでも りすセンター 新木場

 0120-373-959 (海外からご利用の場合) +81-3-3522-5660